

令和4年度 共同化科目一覽

科目群	科目名	担当教員	開講期	授業目的区分		
				A	B	C
人間と歴史	哲学	工・伊藤 徹	後	○	○	
	比較宗教学	工・樽田 勇樹	前	○	○	
	宗教と文化	医・田中 純子	後	○	○	
	日本史	工・浅井 雅	後	○	○	
	東西文化交流史	工・伊藤一馬	後	◎	○	
	アジアの歴史と文化	府・中 純夫	前	○	○	
	ヨーロッパの歴史と文化	府・阿部 拓見ほか	後	◎	○	
	技術の人間学	工・秋富 克哉	後	◎	○	○
	ラテン語	医・松本 加奈子	後	○	○	
	西洋文化論	工・山下 太郎	後	○	○	○
	日本近現代文学	工・高木 彬	後	○	○	
	西洋文学論	工・山下 大吾	前	◎	○	
	美と芸術	工・三木 順子	前	○	◎	
	日本近代精神史	工・伊藤 徹	前	○	○	
	フランス語圏の文化とジャポニスム(※2回生以上)	工・吉川 順子	前(午前)	○	○	
映画で学ぶ英語と文化(※3回生以上)	府・吉田 朱美	後(午前)	○	◎		
映画で学ぶドイツ語と文化(※3回生以上)	府・藤山 菫子	前(午前)	○	◎		
医療人類学	医・野上 恵美	前	○	○		
認知心理学	医・田村 昌彦	前	○	○		
人間と文化(30科目)	京都の歴史Ⅰ	府・菱田 哲郎ほか	前	○	○	
	京都の歴史Ⅱ	府・藤本 仁文ほか	後	○	○	
	京都の文学Ⅰ	府・安達 敬子	前	○	○	
	京都の文学Ⅱ	府・本井 牧子	後	○	○	
	京の意匠	工・中野 仁人ほか	後	○	○	○
	英語で京都(※3回生以上)	府・山口 エレノア	後	◎	○	
	資料で楽しむ京都学(リベラルアーツゼミナール)(※2回生以上)	機・藤本 仁文ほか	後(午前)	○	○	
	京都の文化と文化財	機・宗田 好史ほか	後	○	○	
	現代イスラム世界の文化と社会(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅥ)	機・村田 うらら	集中・夏	◎	○	
	感性の実践哲学(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅦ)	機・桑子 敏雄	集中・夏	○	○	
資料で楽しむ京都学(リベラルアーツゼミナール)(※2回生以上)	機・藤本 仁文ほか	後(午前)	○	○		
京都の文化と文化財	機・宗田 好史ほか	後	○	○		
現代イスラム世界の文化と社会(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅥ)	機・村田 うらら	集中・夏	◎	○		
感性の実践哲学(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅦ)	機・桑子 敏雄	集中・夏	○	○		
資料で楽しむ京都学(リベラルアーツゼミナール)(※2回生以上)	機・藤本 仁文ほか	後(午前)	○	○		
現代正義論(リベラルアーツゼミナール)	機・瀬戸山 晃一ほか	後	○	○	◎	
社会科学の基礎	社会学Ⅰ	府・田島 知之	前	○	○	○
	社会学Ⅱ	府・中谷 勇哉	後	○	○	○
	政治学	工・西村 真彦	後	○	○	○
	国際政治	府・宮脇 昇ほか	前	◎	○	○
	経済学入門	工・人見 光太郎	後	◎		
	法学	工・北村 幸也	前	○		
	医療と社会	医・笠井 敬太	前	○		
	生活と経済	府・小沢 修司	後	○	○	
	こころの科学(心理学から名称変更)	工・西崎 友規子ほか	前	◎		
	発達心理学	医・小川 恭子	集中・夏	○	○	
人間と社会(24科目)	現代社会と心	府・石田 正浩	後	○	○	
	現代社会とジェンダー	府・中根 成寿ほか	前	○	◎	
	現代教育論	工・塩屋 葉子	前	○	○	
	環境と法	工・須田 守	後	○		
	現代医療の人間観	医・七岡 良彦	後	◎	○	
	食経営学	府・平本 毅	前	○		
	近代京都と三大学	機・宗田 好史ほか	前	◎	○	
	京の産業技術史	工・畑 智子	前	○	○	
	現代京都論	府・大島 祥子	前	○		
	京都の経済	機・小沢 修司	後	○		
リベラルアーツゼミナール	現代社会に学ぶ問う力書く力a・b(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅠ)	機・児玉 英明	前	○	○	
	社会科学の学び方(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅡ)	機・児玉 英明	後	◎	○	
	世界はいま(リベラルアーツゼミナール)(旧アメリカと中国はいま(リベラルアーツゼミナール))	機・榎原 美樹	集中・夏	◎	○	
	経営哲学(リベラルアーツゼミナール)(※2回生以上)	機・児玉 英明	後	◎	○	
	資料で楽しむ京都学(リベラルアーツゼミナール)(※2回生以上)	機・藤本 仁文ほか	後(午前)	○	○	
	京都の文化と文化財	機・宗田 好史ほか	後	○	○	
	近代京都と三大学	機・宗田 好史ほか	前	◎	○	
	京の産業技術史	工・畑 智子	前	○	○	
	現代京都論	府・大島 祥子	前	○		
	京都の経済	機・小沢 修司	後	○		
人間と自然(23科目)	物理学Ⅰ	府・安田 啓介	前	○		
	化学概論Ⅰ	工・三木 定雄	前	○		
	化学概論Ⅱ	工・石川 洋一	後	○		
	生物学概論Ⅰ	工・疋田 努	前	○		
	生物学概論Ⅱ	工・疋田 努	後	○		
	生命科学講話	府・塚本 康浩ほか	集中・夏	○	○	
	人と自然と数学α	工・峯 拓矢	前	○	○	○
	人と自然と数学β	工・磯崎 泰樹	後	○	○	○
	人と自然と物理学	工・萩原 亮ほか	後	◎	○	
	生物学的人間学	医・野村 真ほか	前	○		
科学史	工・大西 琢磨	前	○	○		
環境問題と持続可能な社会	工・山田 悦	前	○	○		
食と健康の科学	府・小林 ゆき子ほか	前	◎	○		
キャンパスヘルス概論	工・荒井 宏司	前	○	○	○	
エネルギー科学	工・林 康明	前	○	○	○	
現代科学と倫理	府・岩崎 豪人	前		○		
医学概論(※2回生以上の工織大・府大生が対象)	医・橋本 直哉ほか	後(午前)	○			
京都の農林業	府・中村 貴子ほか	後	○			
京都の防災と府民	機・松岡 京美ほか	後	○	◎		
京都の自然(注)	府・平山 真美子ほか	前	○			
製品の機能から科学を学ぶ(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅧ)	機・石田 昭人	前	○	○		
意外と知らない植物の世界(リベラルアーツゼミナール)(旧意外と知らない植物の世界)	機・松谷 茂ほか	後	○	○	○	
レザで測る、創る、楽しむ(リベラルアーツゼミナール)	機・播磨 弘	前	○	○		
現代イスラム世界の文化と社会(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅥ)	機・村田 うらら	集中・夏	◎	○		
感性の実践哲学(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅦ)	機・桑子 敏雄	集中・夏	○	○		
世界はいま(リベラルアーツゼミナール)(旧アメリカと中国はいま(リベラルアーツゼミナール))	機・榎原 美樹	集中・夏	◎	○		

科目群	科目名	担当教員	開講期	授業目的区分			
				A	B	C	
人間と自然(23科目)	人と自然と数学α	工・峯 拓矢	前	○	○	○	
	人と自然と数学β	工・磯崎 泰樹	後	○	○	○	
	人と自然と物理学	工・萩原 亮ほか	後	◎	○		
	生物学的人間学	医・野村 真ほか	前	○			
	科学史	工・大西 琢磨	前	○	○		
	環境問題と持続可能な社会	工・山田 悦	前	○	○		
	食と健康の科学	府・小林 ゆき子ほか	前	◎	○		
	キャンパスヘルス概論	工・荒井 宏司	前	○	○	○	
	エネルギー科学	工・林 康明	前	○	○	○	
	現代科学と倫理	府・岩崎 豪人	前		○		
	医学概論(※2回生以上の工織大・府大生が対象)	医・橋本 直哉ほか	後(午前)	○			
	京都の農林業	府・中村 貴子ほか	後	○			
	京都の防災と府民	機・松岡 京美ほか	後	○	◎		
	京都の自然(注)	府・平山 真美子ほか	前	○			
	製品の機能から科学を学ぶ(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅧ)	機・石田 昭人	前	○	○		
意外と知らない植物の世界(リベラルアーツゼミナール)(旧意外と知らない植物の世界)	機・松谷 茂ほか	後	○	○	○		
レザで測る、創る、楽しむ(リベラルアーツゼミナール)	機・播磨 弘	前	○	○			
合計77科目							
(再掲)	資料で楽しむ京都学(リベラルアーツゼミナール)(※2回生以上)	機・藤本 仁文ほか	後(午前)	○	○		
	現代正義論(リベラルアーツゼミナール)	機・瀬戸山 晃一ほか	後	○	○	◎	
	現代社会に学ぶ問う力書く力a・b(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅠ)	機・児玉 英明	前	○	○		
	社会科学の学び方(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅡ)	機・児玉 英明	後	◎	○		
	経営哲学(リベラルアーツゼミナール)(※2回生以上)	機・児玉 英明	後	◎	○		
	製品の機能から科学を学ぶ(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅧ)	機・石田 昭人	前	○	○		
	意外と知らない植物の世界(リベラルアーツゼミナール)(旧意外と知らない植物の世界)	機・松谷 茂ほか	後	○	○	○	
	レザで測る、創る、楽しむ(リベラルアーツゼミナール)	機・播磨 弘	前	○	○		
	現代イスラム世界の文化と社会(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅥ)	機・村田 うらら	集中・夏	◎	○		
	感性の実践哲学(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅦ)	機・桑子 敏雄	集中・夏	○	○		
リベラルアーツゼミナール(11科目)	現代社会に学ぶ問う力書く力a・b(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅠ)	機・児玉 英明	前	○	○		
	社会科学の学び方(リベラルアーツゼミナール)(旧リベラルアーツゼミナールⅡ)	機・児玉 英明	後	◎	○		
	世界はいま(リベラルアーツゼミナール)(旧アメリカと中国はいま(リベラルアーツゼミナール))	機・榎原 美樹	集中・夏	◎	○		
	経営哲学(リベラルアーツゼミナール)(※2回生以上)	機・児玉 英明	後	◎	○		
	資料で楽しむ京都学(リベラルアーツゼミナール)(※2回生以上)	機・藤本 仁文ほか	後(午前)	○	○		
	京都の文化と文化財	機・宗田 好史ほか	後	○	○		
	近代京都と三大学	機・宗田 好史ほか	前	◎	○		
	京の産業技術史	工・畑 智子	前	○	○		
	現代京都論	府・大島 祥子	前	○			
	京都の経済	機・小沢 修司	後	○			
京都の農林業	府・中村 貴子ほか	後	○				
京都の防災と府民	機・松岡 京美ほか	後	○	◎			
京都の自然(注)	府・平山 真美子ほか	前	○				
集開講	京都の歴史Ⅰ	府・菱田 哲郎ほか	前	○	○		
	京都の歴史Ⅱ	府・藤本 仁文ほか	後	○	○		
	京都の文学Ⅰ	府・安達 敬子	前	○	○		
	京都の文学Ⅱ	府・本井 牧子	後	○	○		
	京の意匠	工・中野 仁人ほか	後	○	○	○	
	英語で京都(※3回生以上)	府・山口 エレノア	後	◎	○		
	資料で楽しむ京都学(リベラルアーツゼミナール)(※2回生以上)	機・藤本 仁文ほか	後(午前)	○	○		
	京都の文化と文化財	機・宗田 好史ほか	後	○	○		
	近代京都と三大学	機・宗田 好史ほか	前	◎	○		
	京の産業技術史	工・畑 智子	前	○	○		
現代京都論	府・大島 祥子	前	○				
京都の経済	機・小沢 修司	後	○				
京都の農林業	府・中村 貴子ほか	後	○				
京都の防災と府民	機・松岡 京美ほか	後	○	◎			
京都の自然(注)	府・平山 真美子ほか	前	○				
京都学(15科目)	京都の歴史Ⅰ	府・菱田 哲郎ほか	前	○	○		
	京都の歴史Ⅱ	府・藤本 仁文ほか	後	○	○		
	京都の文学Ⅰ	府・安達 敬子	前	○	○		
	京都の文学Ⅱ	府・本井 牧子	後	○	○		
	京の意匠	工・中野 仁人ほか	後	○	○	○	
	英語で京都(※3回生以上)	府・山口 エレノア	後	◎	○		
	資料で楽しむ京都学(リベラルアーツゼミナール)(※2回生以上)	機・藤本 仁文ほか	後(午前)	○	○		
	京都の文化と文化財	機・宗田 好史ほか	後	○	○		
	近代京都と三大学	機・宗田 好史ほか	前	◎	○		
	京の産業技術史	工・畑 智子	前	○	○		
現代京都論	府・大島 祥子	前	○				
京都の経済	機・小沢 修司	後	○				
京都の農林業	府・中村 貴子ほか	後	○				
京都の防災と府民	機・松岡 京美ほか	後	○	◎			
京都の自然(注)	府・平山 真美子ほか	前	○				
(再掲)	フランス語圏の文化とジャポニスム(※2回生以上)	工・吉川 順子	前(午前)	○	○		
	映画で学ぶ英語と文化(※3回生以上)	府・吉田 朱美	後(午前)	○	◎		
	映画で学ぶドイツ語と文化(※3回生以上)	府・藤山 菫子	前(午前)	○	◎		
	英語で京都(※3回生以上)	府・山口 エレノア	後	◎	○		
	資料で楽しむ京都学(リベラルアーツゼミナール)(※2回生以上)	機・藤本 仁文ほか	後(午前)	○	○		
	経営哲学(リベラルアーツゼミナール)(※2回生以上)	機・児玉 英明	後	◎	○		
	医学概論(※2回生以上の工織大・府大生が対象)	医・橋本 直哉ほか	後(午前)	○			
	2回生以上向け開講(7科目)	物理学Ⅰ	府・安田 啓介	前	○		
		化学概論Ⅰ	工・三木 定雄	前	○		
		化学概論Ⅱ	工・石川 洋一	後	○		
生物学概論Ⅰ		工・疋田 努	前	○			
生物学概論Ⅱ		工・疋田 努	後	○			
生命科学講話		府・塚本 康浩ほか	集中・夏	○	○		
人と自然と数学α		工・峯 拓矢	前	○	○	○	

注：今年度開講の「京都の自然」は、内容が重複するため令和元年度まで開講の「京都の自然と森林」を履修した学生は履修することができません。担当教員(それぞれの略称は、科目の提供大学・機関を示します。)

工：京都工芸繊維大学、府：京都府立大学、医：京都府立医科大学、機：京都三大学教養教育研究・推進機構

授業目的区分(○は該当するもの、◎は特に強調するもの)

A：人文・社会・自然の諸分野の学術体系を俯瞰しながらこれらの基礎を幅広く学習し、学術への高い関心を育てる。

B：世界の人々の多様な生き方を感じ、人としての豊かな感性や倫理観を拡張する。

C：日々社会に生起する種々の問題において、真理や正義を探究する議論に習熟する。